

令和6年4月24日

関係各位

九州大学教育学部
教育学部長 田上 哲

「Overseas Internship in モンゴル」における本大学学部生の
モンゴル短期研修についてのご理解へのお願い

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私たち九州大学教育学部では、本学の国際化の計画に基づき、教育学部が持つ多様なアジアとのネットワークを活用しながら、「Overseas Internship in モンゴル」を実施することになりました。アジア圏を中心とする国際的研究と教育の実績を活用し、文化的多様性への感受性と歴史的社会的文脈の理解力を育み、アジア教育のエキスパート(教師、教育行政官、研究者)の養成に基づく取り組みとなります。

国際コース設置以降の授業科目化を目指し、コロナ禍以後、初となりますが、今年度、特に、海外の教育事情を学ぶために、モンゴルへの短期研修を企画しました。添付の日程表にありますように、8月28日(水)から9月14日(土)までの17泊18日でモンゴルを訪問し、モンゴル日本人材センター(国際開発機構[JICA]、国際交流基金[JF]の共同事務所)のご協力を得まして、学生は、モンゴルの国際、教育実践について勉強、見学し、問題意識をより焦点化させることとなります。アジアという地域に赴くことで、アジア文化という鏡を通して生成する「眼差し」が自身に向けられる時、各々のアイデンティティの何が変容し、何が変容しないのか、体験する貴重な機会になると考えられます。具体的には、国際開発機構[JICA]、国際交流基金[JF]の職員の方々(日本人を含む)と共同してインターンシップを行ったり、現地教育機関への訪問などを行う予定です。

保護者の皆様におかれましてはご心配のことと存じますが、短期海外インターンシップ研修の趣旨にご理解をいただけますようお願い申し上げます。本研修によりモンゴルの国際・教育関係者・児童・生徒・大学生と本学教育学部の学生・教育交流の中で、それぞれの学生が教育学の幅広い知識と研究方法を学びとることができるよう私共も期待しています。

また、今回の海外研修は教育の一環として実施するもので、学生の主体性に任せるプログラムになり、学生自身で海外での生活を行うこととなります。現地のモンゴル日本人材センタースタッフによるガイドもお願いしております。

本事業に参加する学生には学生教育研究災害傷害保険(もしくは海外旅行保険)に加入することを義務づけております。往路を引率する教員も万全を期して対応していく所存ですので、添付の海外渡航届にご記入、ご捺印いただけますようお願いいたします。保険加入並びに保護者の承諾のない場合はモンゴル研修への参加はできないことになっております。

保護者の皆様のご理解とご協力の程お願い申し上げます。

謹白

九州大学教育学部

「Overseas Internship in モンゴル」実行委員会
担当教授：竹熊尚夫・木村拓也